

さあ出発だ

16才

青春

今、

挑戦 友情 初恋 失恋

経験 青春 恋愛 友情 初恋 失恋

★高校生としての生き方を考える！

高校阿倍野新聞

発行所 大阪府阿倍野区南
町中一丁目30番34号
大阪府立阿倍野高校
新聞部
編集責任者 藤安義雄

君等の無邪気を撒きちらすんだ
ね。
君等は合格の喜びに浸って今
後三年間の計画、希望を胸に秘め
ておるのでしょうか。私が今、君
達に希望するこの三年間、いかに
努力を怠らぬか、いかに努力を
怠らぬか、いかに努力を怠らぬか
、それこそが、君等の人生に
影響を及ぼすことになる。それ
こそが、君等の人生に、影響を
及ぼすことになる。それこそが、
君等の人生に、影響を及ぼすこ
うになる。

意義ある

高校生活にしよう！

新一年生のみなさん、入学おめでとう。みなさんはこれから高校生活という、これまでと違った世界にはいれたわけですね。とまどいや不安といふものは少なからずあられることでしょう。そこで、新聞部では、新一年生の担任の先生方、高校生活を送るためのアドバイスなどを書いていただきました。これらを参考に、高校生活のプランを立て、不安が少しでも解消していただければ幸いです。なお、協力下さいました先生方には、深く感謝します。

△一組担任 富田先生△

今日から三年間の高校生活が始まる。諸君の今迄とは異なり「自分」が主役で進んだ高校生活としての生活を送る「のである」といふことを先ず自覚してもらいたい。そして本校で何を学び得ようとするかを考え、正しい目標をもち計画を立てて日常の生活を積み上げていってほしい。今、本校二十八期生として同じスタートラインについて受け入れよう。「拒絶反応に成長して高めたい」と考えよう。

△二組担任 大林先生△

入学おめでとう。この機会に勉強や生活の仕方がまるっきり変わるわけではない。要するに、自分の頭で考え、自分の力で問題を解決するものの中に、ある。決して、それは、問題と別のところにある。それをもつて、くつければよい。というふうなものでない。〇×式思考法をやめよう。虎の巻にたよるな。問題そのものをくりかえし、解決することから自然に生まれてくる。がんばれ！

△三組担任 川村先生△

入学おめでとう。少変わってくる。高校生ともなると先生を師であると同時に一人の人間としてみるようになる。たゞ、行動範囲は高校生になる。確かにひびがはる。しかし、それにとまどって責任の比重も重なる。いままで、中学生だからといって、なほ「悩み」である。人との交友関係の中での悩み。自分自身に対する悩み。成績の悩み。t.c.となく、いろいろな面を悩むことがある。しかし、そうして悩むのは人間関係に大きく成長していくであろう。考えてみれば「悩み」といふことを知らない人間ほど不幸である。また、先生生徒の関係も多

△四組担任 福田先生△

入学おめでとう。と全員に言え「SLOW AND STEADY」。

△五組担任 西垣先生△

阿倍高について、色々なことを聞いておられることでしょう。その中には、本当のこと、一面的なものもあるが、このことについて入学後の生活に希望をもった人、逆に失望した人があるでしょう。しかし、いずれの人も、今日から諸君のフレッシュな目で学校を深くみつめ、日々の積極的な活動の中から、一人一人が希望のものを学校に下す。

△六組担任 上野先生△

入学おめでとう。新一年生の皆さん、入学おめでとう。皆さんはこれから阿倍高生として、高校生活を送ることになります。最初の絶好のチャンスです。五月にはクラス・マッチがあり、去年の一年生の種目はバスケットボール、バレーボール、サッカーの三種目で、一日中試合に汗を流しました。また中間テストがあり、中旬にはスポーツテストもありです。

△七組担任 東郷先生△

高校三年間を通して、一生の間、持続する友情を育てるために努力したかどうか、いかに努力したかどうか、いかに努力したかどうか、それが、君等の人生に、影響を及ぼすことになる。それが、君等の人生に、影響を及ぼすことになる。それが、君等の人生に、影響を及ぼすことになる。

△八組担任 小林先生△

この世に生まれておよそ十五年、十一年の間に、人間として何努力をしてみようではありませんか。そして、卒業の日には「阿倍高生」といふ名を誇れるように、努力をしてみよう。そして、卒業の日には「阿倍高生」といふ名を誇れるように、努力をしてみよう。

△九組担任 小川先生△

阿倍高生としての一年間、努力をしてみよう。そして、卒業の日には「阿倍高生」といふ名を誇れるように、努力をしてみよう。

△十組担任 山本先生△

阿倍高生としての一年間、努力をしてみよう。そして、卒業の日には「阿倍高生」といふ名を誇れるように、努力をしてみよう。

△十一組担任 佐藤先生△

阿倍高生としての一年間、努力をしてみよう。そして、卒業の日には「阿倍高生」といふ名を誇れるように、努力をしてみよう。

△十二組担任 田中先生△

阿倍高生としての一年間、努力をしてみよう。そして、卒業の日には「阿倍高生」といふ名を誇れるように、努力をしてみよう。

△十三組担任 鈴木先生△

阿倍高生としての一年間、努力をしてみよう。そして、卒業の日には「阿倍高生」といふ名を誇れるように、努力をしてみよう。

自己の充実が理想の高校生活

入学おめでとう。少変わってくる。高校生ともなると先生を師であると同時に一人の人間としてみるようになる。たゞ、行動範囲は高校生になる。確かにひびがはる。しかし、それにとまどって責任の比重も重なる。いままで、中学生だからといって、なほ「悩み」である。人との交友関係の中での悩み。自分自身に対する悩み。成績の悩み。t.c.となく、いろいろな面を悩むことがある。しかし、そうして悩むのは人間関係に大きく成長していくであろう。考えてみれば「悩み」といふことを知らない人間ほど不幸である。また、先生生徒の関係も多

楽しく過ごそう！

阿倍高一年生の一年間

新一年生の皆さん、入学おめでとう。皆さんはこれから阿倍高生として、高校生活を送ることになります。最初の絶好のチャンスです。五月にはクラス・マッチがあり、去年の一年生の種目はバスケットボール、バレーボール、サッカーの三種目で、一日中試合に汗を流しました。また中間テストがあり、中旬にはスポーツテストもありです。



針の糸

新一年生の皆さん、入学おめでとう。皆さんはこれから阿倍高生として、高校生活を送ることになります。最初の絶好のチャンスです。五月にはクラス・マッチがあり、去年の一年生の種目はバスケットボール、バレーボール、サッカーの三種目で、一日中試合に汗を流しました。また中間テストがあり、中旬にはスポーツテストもありです。

